

11月度 <small>例会</small> <b>山行報告書</b> <small>個人</small>		報告者	津田 廣一	参加 メンバー	CL:津田 廣一 利栄子 谷田 香
		報告日	12/12		
山域	天子山塊	山行日	12年11月24日(土)		
山名	毛無山				

山行目的	雪化粧の富士観賞 & 200名山を登る	コースタイム (天候: 天気図記号)
------	---------------------	--------------------

配布先  
集会:12  
山行: 1  
リーダー  
原紙: 集会担当者

ルート図 (地図を見て正確に)



毛無山

地蔵峠

2.5万分の1地図: 人穴

11/24 雨後曇り

05:00 豊橋発

08:10 麓登山口駐車場着

08:30 麓登山口発

09:40 樹林帯 1本 (10分)

10:50 地蔵峠 1本 (10分)

12:10 毛無山山頂  
(毛無山最高点往復等)

13:00 毛無山山頂発

14:00 5合目 1本 (5分)

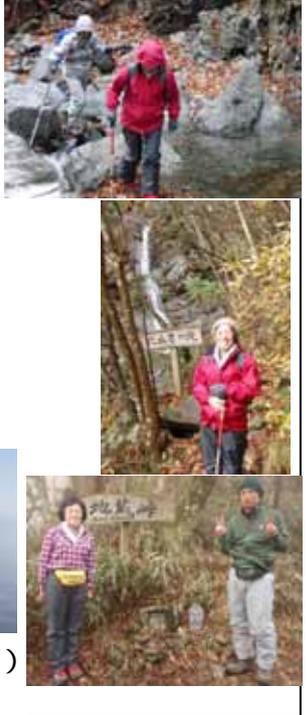
15:00 麓登山口下山

16:20~17:30 天母の湯♨

21:15 豊橋(自宅)着



頂上からの富士山 (1月)  
(インターネットより)



山行報告 4時半起床。谷田さんをピックアップ、天候の回復に期待して5時に出発。浜北ICから新東名へ入り、麓の登山口を目指す。登山口に到着も、雨。駐車場の周囲のお年寄り達が着々と登山準備をされているのに刺激され、気分が盛り上がりたまま準備を開始。カッパを上下、着込での出発。頂上到着頃に天候回復を期待し、一層のポレポレペースに。沢の水量がさほど増えていない事を確認し、予定通り地蔵峠経由で山頂を目指す。気温も低く、カッパを着ていても汗をかかず、丁度良い。紅葉は見頃を過ぎてているが、落ち葉が道に敷き詰められ、足には優しい。小さな徒渉も数回繰り返して、30分位歩いて、比丘尼の滝へ。綺麗な滝だ！しばらく歩くと、身体も温まってきた所で1本。雨も止んだ為、カッパを脱ぐ。これからの急登に備え、S/Aで買ったどでかい大福を食べて元気付。再び歩き出し、一人のベテランらしい人に道を譲る。みるみる、距離が離れ、我々が行く道と違う方へ行つたみたいに思えた。修正地図で水場とあった所を涉り、張ってあるロープも頼りに、急登を喘ぐと地蔵峠に出た。小さなお地蔵さんが祀られている。少し休んで、山頂を目指す。アップダウンを繰り返して、12時過ぎに1954.5mの山頂に到着。2人と1等三角点に、しっかりと握手。さすがに寒く、カッパを着込む。富士山は、雲の中に姿を見せず、残念！昼食にお握りを食べて、毛無山最高点1964mまで、足を延ばす。私は大見岳を探すもよく分からず。時々、陽が差すも、富士山方向の厚い雲は取れそうになく、13時に下山開始。地蔵峠への分岐に、「毛無山ハイキングコース」の看板があり、妻と谷田さんからは「これがハイキング？」と大

確認  
(リーダー)  
津田  
12.11.25  
作成  
(報告者)  
津田  
12.11.25

ブーイング。急勾配の道を、一歩、一歩と注意しながら降りて行く。疲れが始め、時々、滑って尻もちをつくも、見事な不動の滝も眼に収め、3時頃に無事下山。日帰り温泉情報を得る為に、朝霧高原の道の駅へ。帰り道で探すもぴったりのお風呂がなく、いつもの天母の湯で、汗を流す。サッパリするも、高速のIC迄、夕方の渋滞が進まない。途中で富士宮焼そばの店を見つけて食す。美味を味わい、豊橋へ9時過ぎに無事、帰る事ができた。充実した山行であった。

リーダー所見  
雪化粧した富士を見に行こうと計画した山行だったが、残念ながら、富士山を見る事ができなかった。しかし、周遊コースとし、沢沿いの道を登りに選んだ事から、徒渉・滝と変化に富んだ山行を楽しめた。このコースの「ハイキングはおかしい」と二人から言われ続けたが、二人とも、満足した山行だったと思う。今後も、多くの人と山を楽しんでいきたい。

